

コロサイ

人への手紙

⑤

恵みの内に 用いられて

コロサイ人への手紙 4章 挨拶・依頼と奨励

アウトライン

0. イントロダクション

I. 御言葉の学びの適用 1～6節

II. 挨拶 依頼と奨励 7～18節

III. まとめと適用

主の恵みによって

用いられる喜びを



コロサイへの手紙とは？

■ 著者 …使徒パウロ（書記テモテ）

■ 宛先 …コロサイ教会

■ 執筆時期・場所

…獄中書簡。どこかは不明。

→ エペソの獄中説を採用
（ピレモンとの関連）

■ 目的 …異端的教えへの反論





I. 御言葉の学びの適用 1~6節

ペルセポリスの円形劇場

促し 天の主にならう コロサイ4:1

主人たちよ。あなたがたは、自分たちも天に主人を持つ者だと知っているのですから、奴隷に対して正義と公平を示しなさい。

- 3章の続き。内容的には3章はここまで。
- 天の主にならい、正義を公正を示す。
しもベイエスにならい、従順に仕える。



促し 信者の備え コロサイ4:2~3

たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい*。

*携拳(空中再臨)の備え

「ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。マタイ24:42」



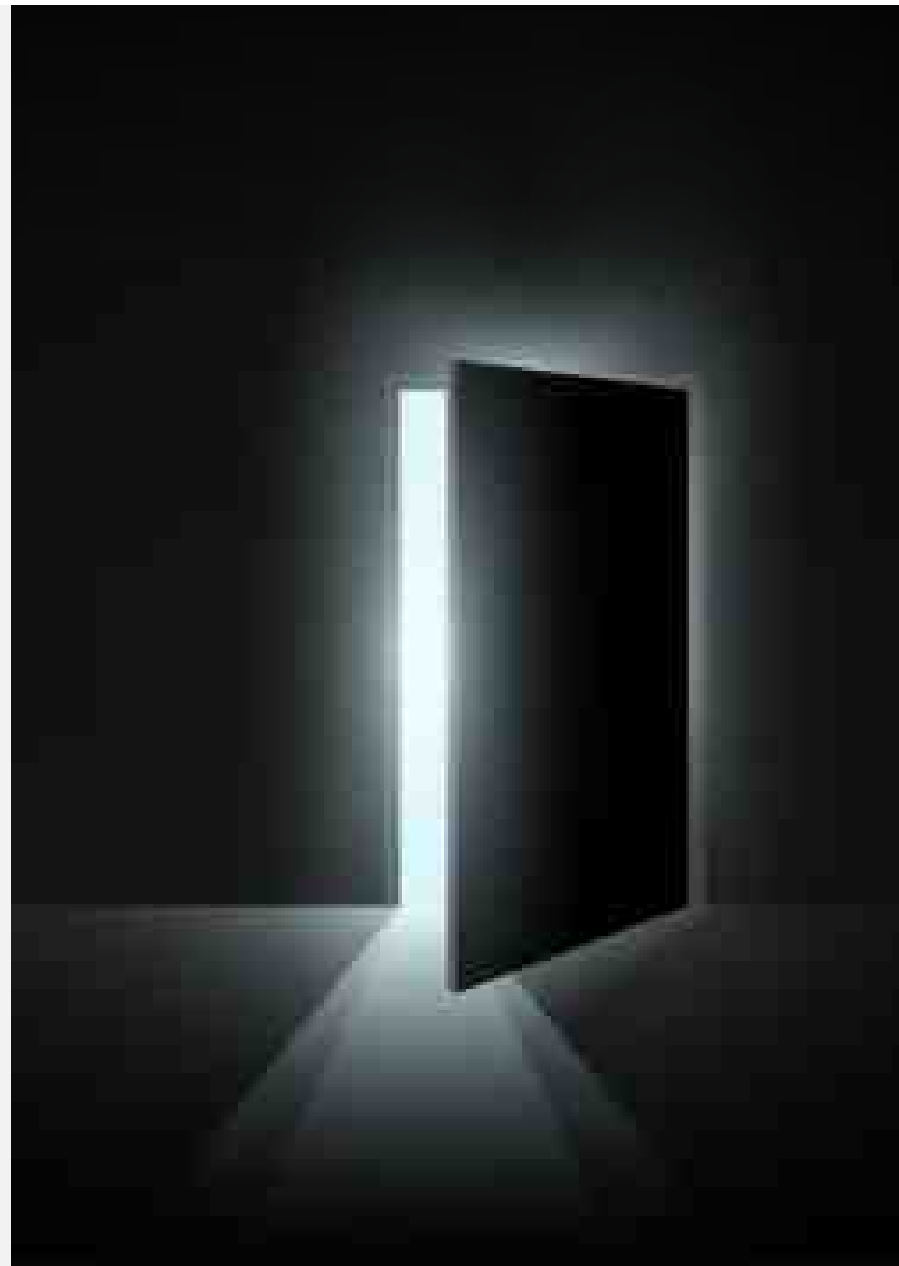
願い とりなしの求め コロサイ4:3

同時に、私たちのためにも祈ってください。神がみことばのために門を開いてくださって、私たちが**キリストの奥義***を語れるように祈ってください。この奥義のために、私は牢につながれています。

*キリストの出来事(初臨から再臨まで)

十字架と復活～教会時代～携拳

～大患難～再臨～神の王国



促し 信仰者の証し コロサイ4:4~5

また、私がこの奥義を、語るべき語り方で明らかに示すことができるように、祈ってください。

外部の人たち*に対しては、機会を十分に活かし、知恵をもって行動しなさい。

*未信者…状況の理解が不十分なまま
パウロを投獄した人々?!

■獄中でもパウロがひたすら願うのは、
キリストを宣べ伝えること。



促し 主の塩なる言葉 コロサイ4:6

あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいか分かります。

■ 主イエスの言葉 マルコ 9:50

「塩は良いものです。しかし、塩に塩気がなくなったら、あなたがたは何によってそれに味をつけるでしょうか。あなたがたは自分自身のうちに塩気を保ち、互いに平和に過ごしなさい。」





Ⅱ. 挨拶 依頼と奨励

7~18節

ヒエラポリスの円形劇場

促し 同労者ティキコ コロサイ4:7~8

私の様子はすべて、愛する兄弟、忠実な奉仕者、主にある同労のしもべであるティキコ*が、あなたがたに知らせます。

ティキコ*をあなたがたのもとに遣わすのは、ほかでもなく、あなたがたが私たちの様子を知って、心に励ましを受けるためです。

- *第三次宣教旅行に同行。アジア州出身
- エペソでの騒動でもパウロと一緒に
- 後にエペソのテモテに派遣される
- ローマまでパウロに同行



促し 愛する兄弟 コロサイ4:9

また彼は、あなたがたの仲間の一人で、忠実な、愛する兄弟オネシモ*と一緒に行きます。この二人がこちらの様子をすべて知らせます。

*「獄中で生んだわが子(ピレモ 1:10)」

➔コロサイのピレモンの逃亡奴隷

➔エペソの獄中で導かれた?!



ラオディキア

挨拶 同労者たち コロサイ4:10

私とともに囚人となっているアリストアルコ*と、バルナバのいとこであるマルコ*が、あなたがたによろしくと言っています。このマルコについては、もし彼があなただたのところに行ったら迎え入れるように、という指示をあなたがたはすでに受けています。

*エペソの騒動に巻き込まれている。

*第一次で離別。第三次は同行。



ラオディキア

挨拶 同胞の同労者たち コロサイ4:11

ユスト*と呼ばれるイエスも、よろしくと言っています。割礼のある人*では、この三人だけが神の国のために働く私の同労者です。彼らは私にとって慰めになりました。

*使徒候補だったユスト？(使徒1:23)

*ユダヤ人信者(メシアニックジュー)



ラオディキア

挨拶 弟子の道 コロサイ4:12

あなたがたの仲間の一人、キリスト・イエスのしもべエパfras*が、あなたがたによろしくと言っています。彼はいつも、あなたがたが神のみこころのすべてを確信し、成熟した者として堅く立つ*ことができるように、あなたがたのために祈りに励んでいます。

*パウロと獄中にいた(ピレモ1:23)

*すべてのキリストの弟子への主の要請

→御言葉の深い学びと確かな適用!!



ラオディキア

挨拶 同労者たち コロサイ4:13～14

私はエパfrasのために証言します。
彼はあなたがたのため、またラオディキアとヒエラポリス*にいる人々のため、たいへん苦勞しています。

愛する医者^{*}のルカ^{*}、それにデマス^{*}が、あなたがたによろしくと言っています。

*コロサイに隣接する二つの町。

*ルカ福音書の著者。パウロに同行。

*後に、「世を愛し」、脱落。

ユダのような者がパウロの周囲にも!!



挨拶 兄弟へ コロサイ4:15～16

どうか、ラオディキアの兄弟たちに、またニンパと彼女の家にある教会に、よろしく伝えてください。

この手紙があなたがたのところで読まれたら、ラオディキア人の教会でも読まれるようにしてください。あなたがたも、ラオディキアから回って来る手紙を読んでください。



ラオディキア

挨拶 最後の署名 コロサイ4:17~18

アルキポ*に、「主にあって受けた務めを、注意してよく果たすように」と言ってください。

私パウロが自分の手であいさつを記します*。私が牢につながれていることを覚えていてください。どうか、恵みがあなたがたとともにありますように。

*ラオディキアの家の子の教会の長老?!

*書記ではなく、直筆で最後に署名





Ⅲ. まとめと適用

恵みによって用いられる喜びを!!

ラオディキア

パウロの選びと使命

■ 獄中でも、キリストの奥義を語り続けたパウロ。
主に与えられた使命の通りに。

■ 使徒の働き9:15～16

「あの人(パウロ)はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、**わたしの選びの器**です。

彼がわたしの名のためにどんなに苦しまなければならないかを、わたしは彼に示します。」

主が、一方的に選ばれた **選びは、一方的な恵み**

イスラエルに学ぶ 神の選びの理由

■申命記7:7～8

【主】があなたがたを慕い、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。事実あなたがたは、あらゆる民のうちで最も数が少なかった。

しかし、【主】があなたがたを愛されたから、またあなたがたの父祖たちに誓った誓いを守られたから、【主】は力強い御手をもってあなたがたを導き出し、奴隷の家から、エジプトの王ファラオの手からあなたを贖い出されたのである。

選びの根拠は、主の一方的な「愛」と 一方的な約束に基づく「義」

神の選びの本質を身に刻もう

- イスラエルの選びの理由は、イスラエルの側にはない。
- パウロの選びの理由も、パウロにはない。
- 福音を信じてクリスチャンとされたのも、一方的な神の選び。
 - ➔ 私たちの選びの理由も、私たちの側にはない

神の一方的な愛と義だけが、私たちの選びの理由

選びの理由に基づいて遣わされよう

- 神の恵みによって一方的に選ばれ、使命を帯びて遣わされる
- 信者の使命はただ一つ、**キリストの奥義**を伝えること
…十字架の死と葬りと復活の福音 …携拳、再臨、神の王国
- 使命のために遣わされて行く者を、主が一方的に用いられる。

欠けだらけの私を、主ご自身が満たして用いてくださる

神の「助け手」ではなく、「助けられ、用いられる者」として

「神は、ご自身のために働く人を求めているのではない。むしろ、神がその人を通して自由に働けるような器を求めている。」

ジョン・バイパー(牧師・神学者)』

■福音が告げるのは、『助手募集中』の求人広告ではなく、
『助けはここにあり』という、キリストについての宣言。

■必要なのは、神の働きのために、己を差し出すこと。
私自身は空っぽでも構わない。主ご自身が満たして働かれる。

信仰者に求められていること

- 頑張っ、努力して、何かを成し遂げることではない。
助け手、働き手としての優秀さや実績を示すことではない。
- 何かをもたらされたとすれば、一切、私の力ではない。
→ 主が助けられ、用いられ、主ご自身が働かれた。
- 神の目には、私の欠けも弱さも、まったく何の関係もない。
→ むしろ、私の貧しさを、主は幸いと用いられる。
私にできないことだからこそ、主の働きの確かな証しとなる。

★ 恵みによって用いられる喜びを!! ★

- 「神のみこころのすべてを確信し、成熟した者として堅く立つ」
→パウロの祈り。成長させてくださるのも主。
- 御言葉を慕い求め、学びを深め、遣わされ、キリストを告げよう。
目の前に示された、小さなチャレンジにまずは取り組むこと。
- どんなに小さなことでも、主の働きは、私の力ではなし得ない。
主に信頼して踏み出す時、御霊が、欠けた器を用いてくださる。

私がどんな人間かなど関係ない。主に遣わされ、用いられよう

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、
^{つみ}あがな^{じゅうじか}し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか}ほうむ

②墓に葬られ、

^{みつかめ}ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{なん}何の^{しかく}資格もない^{わたし}私を、^{しゅ}主が^{めぐ}恵みによって^{えら}選^とび取ってくださいました。

^{しゅ}主の^ぎ義と^{あい}愛の、^{めぐ}はかりしれない^{めぐ}恵みを、^{ぞんぶん}存分に^{あじ}味わわせてください。

^{わたし}私の^か欠けも^{よわ}弱さも、^{みたま}御霊が^み満たされ、^{しゅ}主が^{わたし}私を^{もち}用いてくださいます。

^{しゅ}主の^{たす}助けはここに^{わたし}あります。どうか^{つか}私を^{わたし}遣わしてください。

^{しゅ}主イエス・キリストの^なみ名によって^{いの}祈ります。 アーメン」